令和８年11月５日

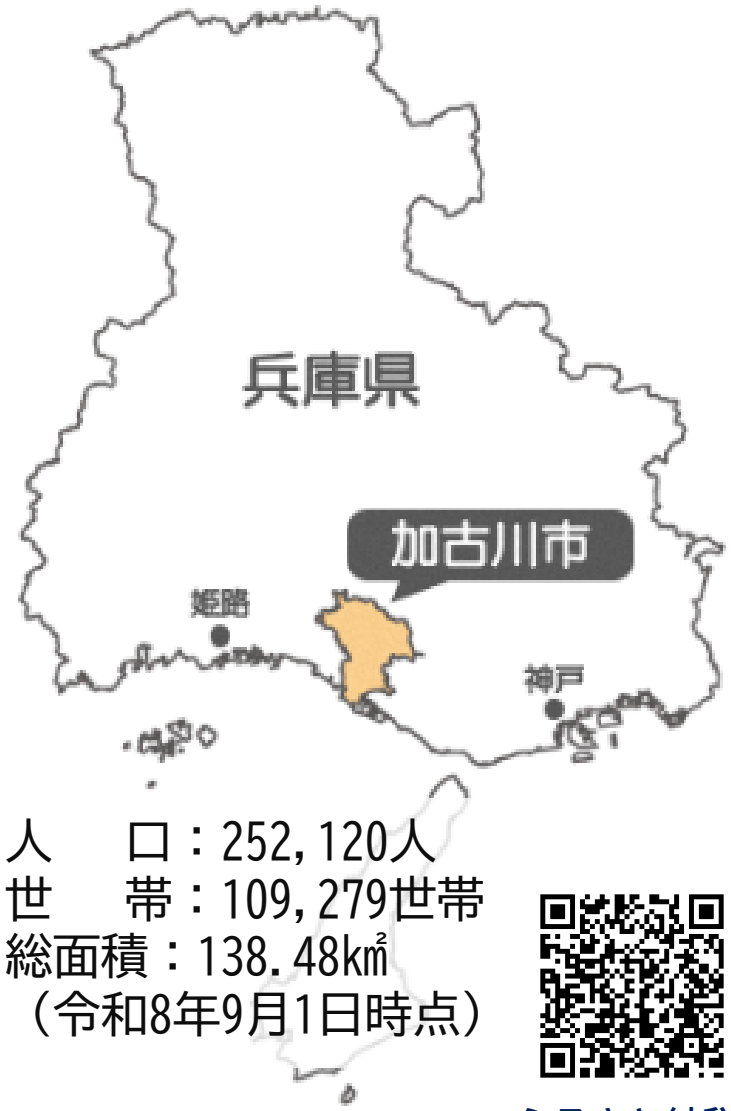
愛知県市長会　様

市民中心の課題解決型スマートシティ

KAKOGAWA SMART CITY PROJECT

加古川市　企画部　デジタル改革推進課

兵庫県 加古川市について



人　　口：252,120人
世　　帯：109,279世帯
総面積：138.48㎢
（令和8年9月1日時点）

ふるさと納税

加古川市の地理的特性

- 一級河川加古川の河口部に位置し自然を満喫できる
- 播磨地域の工場地帯の一部を構成
- 神戸や大阪、姫路に短時間でアクセスできる

加古川ならではの魅力づくり

- 身近な自然を活かした魅力づくり
- 産業誘致による雇用の創出
- 駅周辺等の拠点の新たな賑わいづくり




棋士のまち


加古川和牛


かつめし


鶴林寺


高御位山

見守りカメラ設置に至る背景

SDGs未来都市 KAKOGAWA

■当時の市政課題

刑法犯認知件数（犯罪発生件数）が多かった

- まちの魅力、Well-beingを語る上で治安の改善は不可欠



- 見守りカメラ1,475台を設置
  - 2017年度より段階的に各小学校区40～50台程度を設置。
  - 新規の条例を制定するなどプライバシーに十分配慮しつつ、設置場所についても、地域の声を反映した。
- 見守りサービスの導入
  - 各カメラの筐体内等にBLEタグの検知器を設置。民間事業者、市民との協働により、お年寄りや子供たちの見守りを。

さらなる安全・安心を目指した見守りカメラの設置

SDGs未来都市 KAKOGAWA

■AIを活用した高度化見守りカメラ

デジタル田園都市国家構想推進交付金

- 「犯罪・交通事故の未然防止」、「賑わいのあるまちづくり」を目指し、高度化見守りカメラを導入します。
- 加古川駅、東加古川駅、別府駅等の駅周辺や公園など、犯罪発生が多発しているエリア、地点に**150台設置**（AIは2023年10月から稼働）
- さらなる安全・安心を目指して、交通事故が多発している交差点に**３台設置**（2024年３月）



Ⅰ型カメラ（100台）	**Ⅱ型**カメラ（50台）	**危険運転検知特化型カメラ**（３台）
危険な状況の周知（犯罪の未然防止） 異常音（悲鳴・怒声）検知時に 回転灯の光とスピーカー音【夜間のみ】		
	車両接近の注意促進（交通事故の未然防止） 一定速度以上の車両接近時に 回転灯の光とスピーカー音 【日中のみ】	**信号のある交差点での車両接近の注意促進（交通事故の未然防止）** 歩行者等の巻き込み事故の未然防止
	人流測定（まちづくりへの活用） 得られた人流データの分析と活用	スピーカー音





回転灯

＋



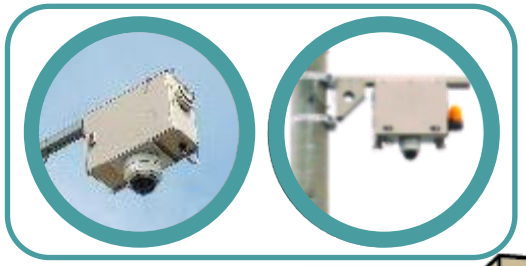
スピーカー

見守りサービスの概要（官民連携事業）

SDGs未来都市 KAKOGAWA

■BLEタグを活用した見守りサービス

見守りカメラ/高度化見守りカメラ

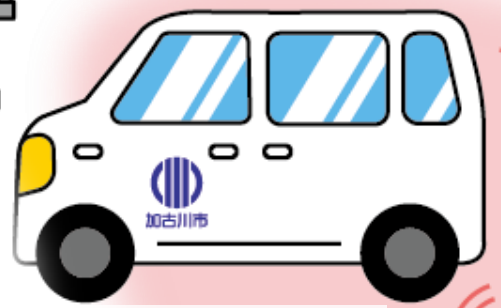


BLEタグ検知器









公用車
走行履歴情報、見守りタグ検知

見守りBLEタグ







みまもりアプリ



■ ながら見守り活動にウェルピーポイントを付与

- ながら見守り活動（買い物やウォーキング又は犬の散歩等の日常生活の中で、少しだけ防犯の視点を持って、地域を見守る取り組み）」中にみまもりアプリを起動し、条件を達成した人に、ウェルピーポイントを付与



yuifillアプリ
（スマートフォンアプリ）

or



ワンコイン浸水センサ（国）の実証実験

SDGs未来都市 KAKOGAWA

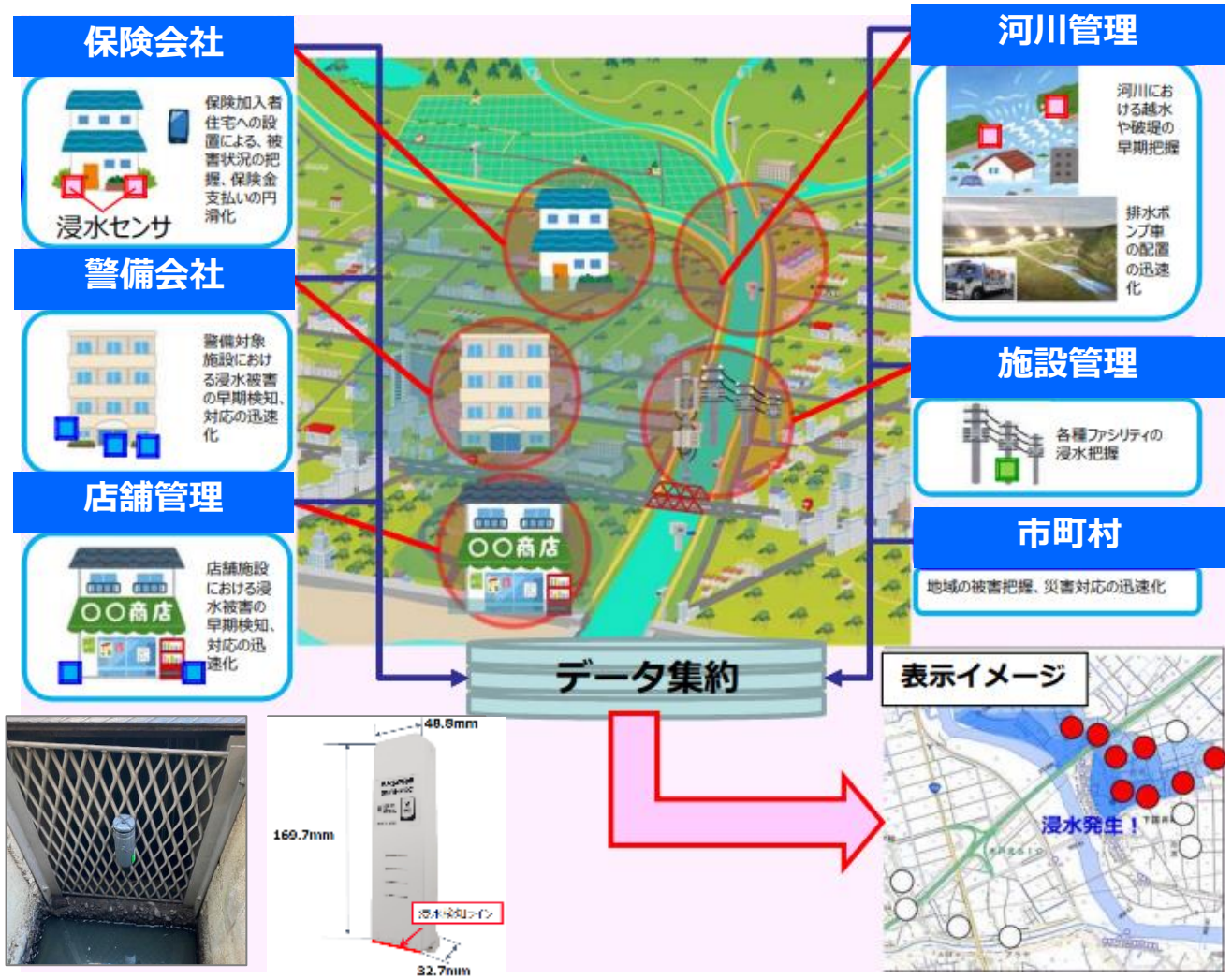
背景

1. 生産年齢人口の減少により、将来的に職員数の維持が難しい
2. 豪雨災害の激甚化・頻発化で、レジリエンス向上が重要
3. 加古川が市域中央を縦断し、内水氾濫を含む水害対策が課題

- 限られた人員の中で、まちなかの浸水を早く把握する
- 「現場に行かなければ分からない浸水」を、データで早く把握する

国土交通省の実証実験（令和４年度～）

小型・長寿命・低コストのセンサを多数配置し、
浸水状況を面的・リアルタイムに把握する仕組みを検証

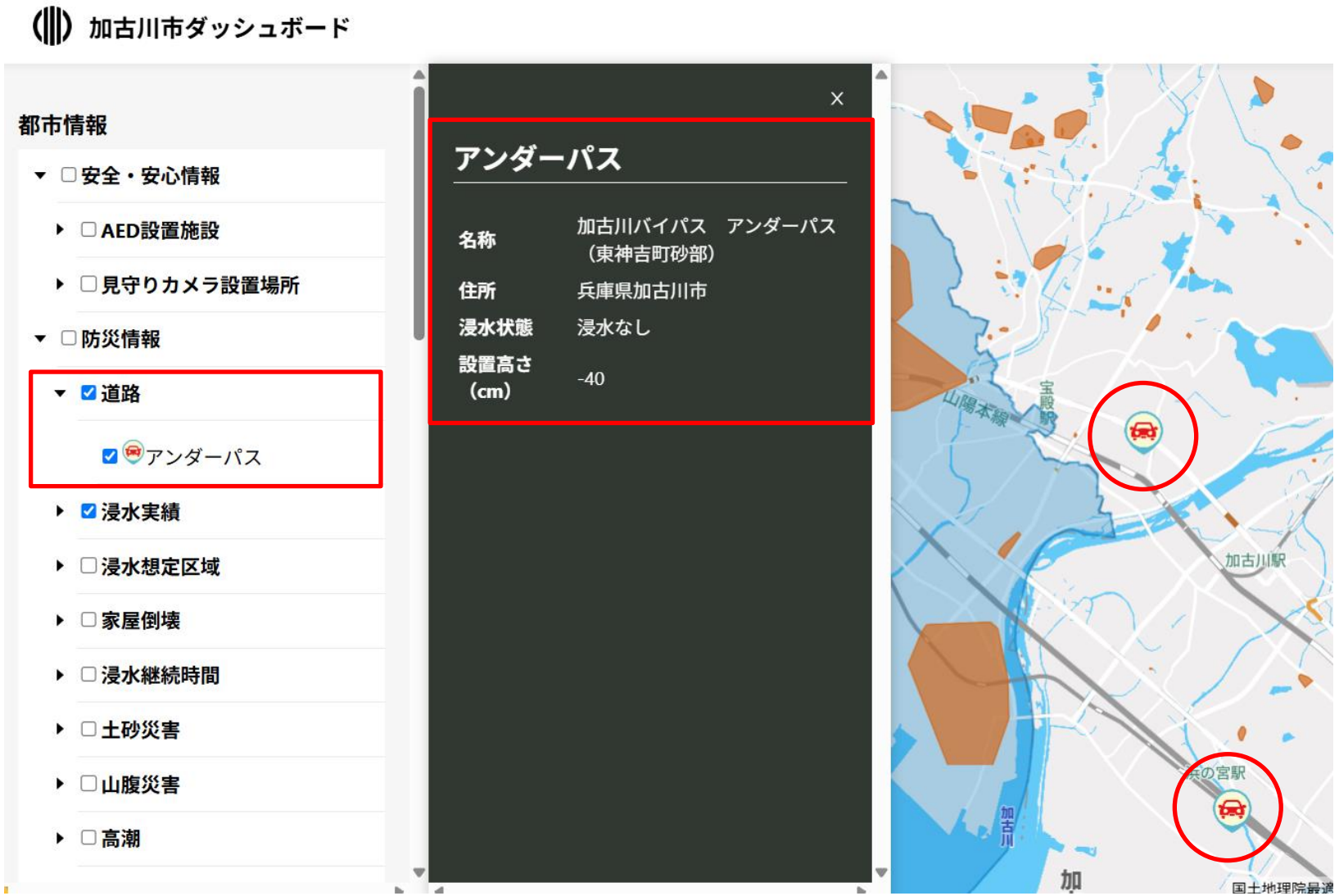


国土交通省「ワンコイン浸水センサの実証実験」プレスリリース（2022 年3月18日）

市民向け情報公開とデータ活用

SDGs未来都市 KAKOGAWA

➢ 行政が把握するだけでなく、市民の安全な通行判断や事後検証へ



- **一部アンダーパスの浸水検知情報を公開**

  対象：別府町新野辺、東神吉町砂部

- **リアルタイムに状況を見える化**

  通行判断に加え、浸水時刻・継続時間の把握や住民説明にも活用

平時アイコン
（通行可能）



浸水時アイコン
（通行判断の参考）



Decidimの導入

● Decidim（デシディム）とは？

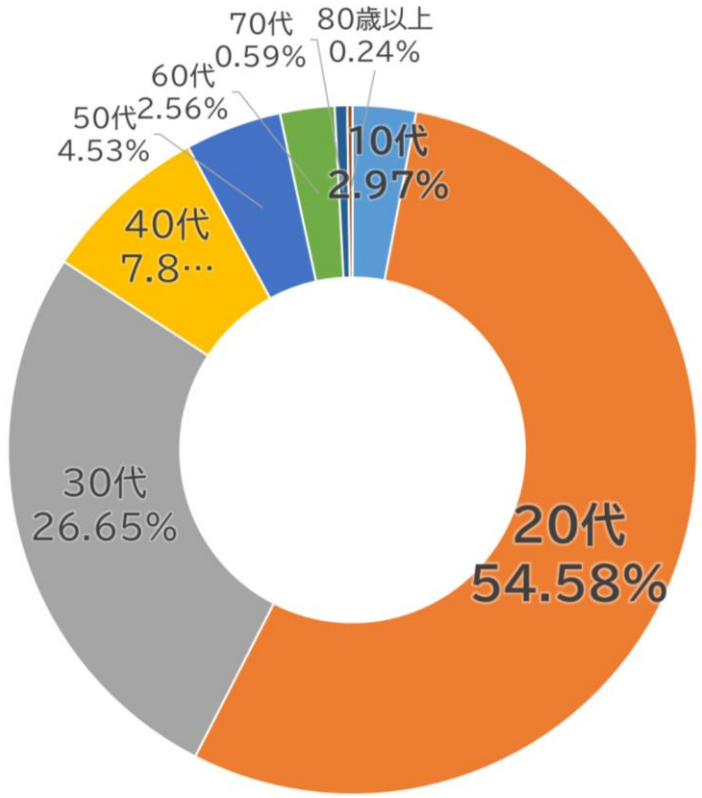
- ➢ 市民の皆さまをはじめ、加古川市に関心のある方々がまちづくりのアイデアや意見をインターネット上で出し合い、気軽に話し合えるオンラインの場所
- ➢ アカウントを作成すれば、どなたでも簡単に意見交換や議論に参加できる。



● 2025年１月末にリニューアル

- ➢ スマートフォンでも見やすく分かりやすいデザインに生まれ変わりました！

◆ ユーザーの状況



若い世代のユーザーが多い！

2026. 3末現在

ユーザ数　：7, 421

トピック数：40

decidim
free open-source participatory democracy for cities and organizations

加古川市スマートシティ構想



加古川市
スマートシティ構想

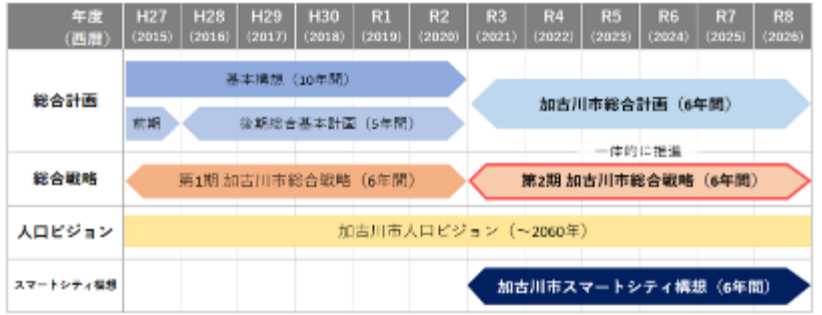
2021-2026

本市においても、人口減少、少子高齢化による人口構造の変化、公共施設や社会インフラの老朽化、ごみ減量などの環境問題、デジタル技術の急速な変革への対応などの課題に直面しており、今後、デジタル技術を活用しつつ市民生活の質を高め、市民満足度の向上を図りながら、市のさまざまな課題について、テクノロジーをその手段とし、市民のみなさんと解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指し、「誰もが豊かさを享受でき、幸せを実感できるまち加古川」を実現するため「加古川市スマートシティ構想」を策定するものです。



【加古川市スマートシティ構想】

●構想の位置づけ



市政を推進する上での方針となる市の最上位に位置づけられた「加古川市総合計画」や、本市の強みや特徴を生かした今後6か年の地方創生の指針となる「第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をはじめ、各種計画の横断的な構想として位置づけている。

●構想の期間

2021年度～2026年度（令和3年度～令和8年度）
（前期:2021～2023年度/後期:2024～2026年度）

支払いまで完了できる施設予約システムの導入

■ 市民の意見（Decidim）

スポーツ施設以外（公民館、会議室もオンラインで手続きがしたい

できない理由より、今ある便利なものをどう使うか検討していきたい





decidim
free open-source participatory democracy for cities and organizations







公共施設の予約がもっとしやすくなるといい

予約→申請→支払いが一度でできない

➢ **利便性だけでなく、行政側の事情も含めて、みんなでより良い仕組みを構築する議論が行われていた。**

■ 加古川市スマートシティ構想

1 市民　市民の生活の質（QOL）や利便性を向上するサービス

1－①　いつでもどこでもできるストレスフリーな行政手続の実現

基本方針　後期（2024～2026 年度）

さらなる市民サービス向上と業務の効率化に向け、マイナンバーカードの公的個人認証サービスによる個人認証及び電子署名の活用をはじめとする各種申請・届出のオンライン化や、行政サービス（使用料、手数料等）や税のキャッシュレス決済の導入を進め、時間や場所を選ばない行政手続きの実現を図ります。

基本方針を実現するためのアイデアの一例

- 窓口混雑状況のリアルタイム配信
- オンラインによるリモート窓口の導入
- 公金のキャッシュレス決済の導入
- 行政手続きにおけるアナログ規制の見直し
- マイナンバーカードを活用した申請書等入力補助の実現
- AI による窓口混雑予想システムの導入
- オンライン申請の拡充
- わかりやすくやさしい本人確認方法の導入
- **支払いまで完了できる施設予約システムの導入**

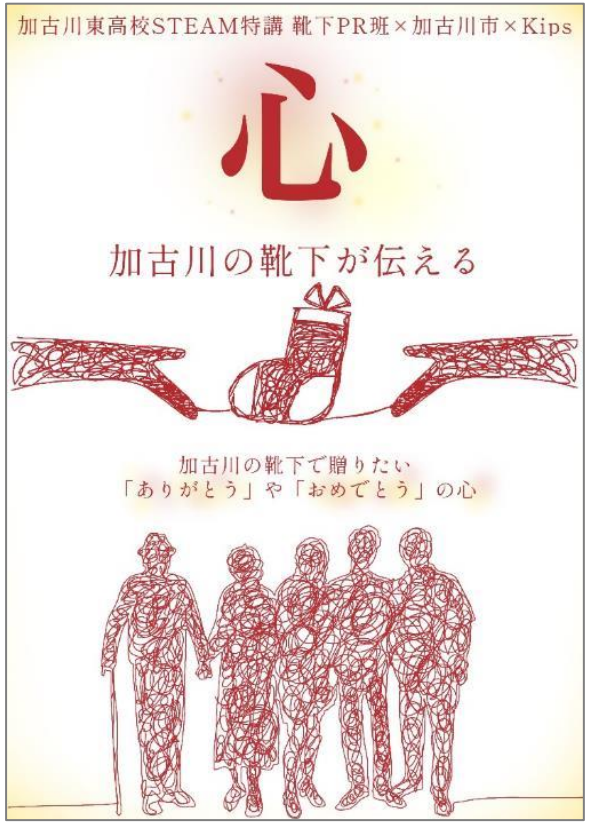
加古川東高等学校「放課後プロフェッショナル」

SDGs未来都市 KAKOGAWA

- ●学生のみなさんが、行政任せにせず**「自ら取り組む」**ことを実践
  人任せにしない取り組み（自分たちでデータを集め、関係者に働きかける）
- ●市の担当課も事業者も呼応して、取り組みのブラッシュアップ
- ●オンラインツール（Zoom、Decidim）を活用したコミュニケーション







■ 令和7年度～





新施設の愛称決定に活用

■ Decidimの投票機能を活用

●新しい複合施設（子育てプラザ＋公民館）の愛称に、投票機能を活用

オンラインでの活動



Decidimによる投票
（GIGAスクールの端末からの投票等）

- クラウドソーシングによる400案から9案に絞り込み
- Decidimで9案から3案へ（オンライン投票機能を活用）
- Lineや掲示板、回覧板などと同時並行で最終決定

オフラインでの活動



リアルの場でのシール投票

- さらに立地地域の町内会では回覧板で投票



Decidimで共有（オンライン）

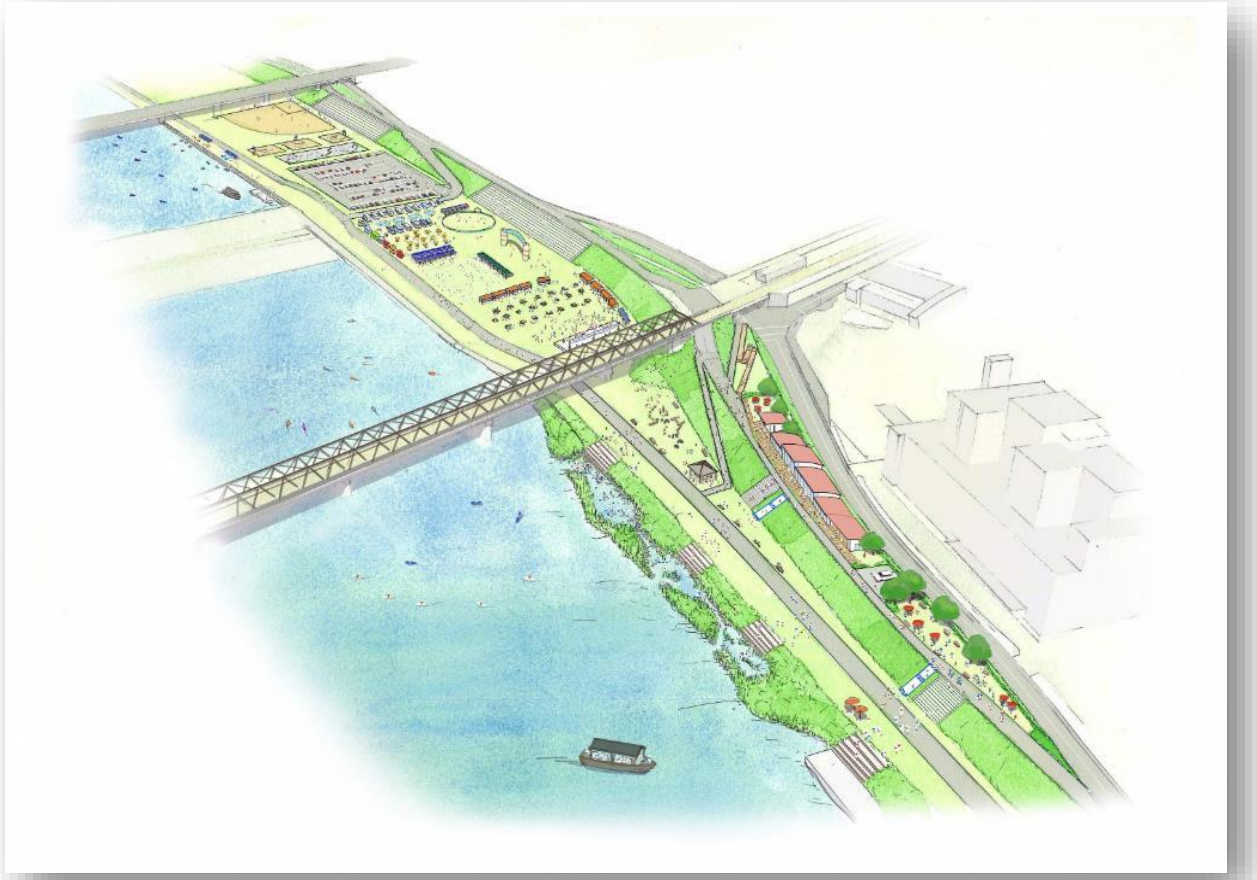




かわまちづくりにおける活用

SDGs未来都市 KAKOGAWA

- JR加古川駅そばの広大な河川敷緑地にて、「かわまちづくり」に取り組んでいる。
- ワークショップやシンポジウムの開催に加えて、「Decidim」を活用し様々なアイデアを書き込んでいただいている。







加古川駅周辺のまちづくり

■加古川駅　駅南広場芝生リノベーション



➢ Decidimでの情報発信

JR加古川駅周辺の再整備に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました

JR加古川駅の再整備に向けた計画作りの参考とするため、アンケート調査を実施しておりました。ご回答いただきました皆さま、ご協力ありがとうございました。

アンケート結果につきましては、追って公表いたします。

詳細はこちら！



加古川市観光まちづくりプランの策定に向けて



加古川市観光まちづくりプランの策定に向けて

完了: 2025/03/31

加古川市観光まちづくりプラン案検討

加古川市の魅力をさらに磨き上げ市内外に発信することで、たくさんの人々が本市を訪れ観光によるにぎわい溢れるまちづくりを実現できるよう、観光まちづくりプランの策定に向けて準備を進めています。（2025年3月　加古川市観光まちづくりプランが完成しました。）



観光まちづくりプラン策定のスケジュール

- 第１回加古川市観光まちづくりプラン策定委員会 2024年7月
- アンケート調査 2024年9月（終了）
- 加古川市の観光全般についてのご意見・アイデアなど 2024年11月（終了）
- 第２回加古川市観光まちづくりプラン策定委員会 2024年11月
- アンケート結果
- 加古川市観光まちづくりプラン（案）に対する意見募集 2024年12月（終了）
- 第３回加古川市観光まちづくりプラン策定委員会 2024年12月
- 加古川市観光まちづくりプラン策定 2025年3月

次期加古川市総合計画の策定に向けて



次期加古川市総合計画の策定に向けて

残り 12 ヶ月

高校生ワークショップへの意見募集期間







次期総合計画策定に向けた高校生ワークショップを開催しました！

更新日：2025年04月01日

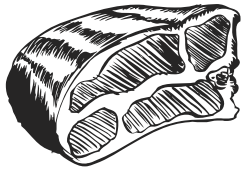


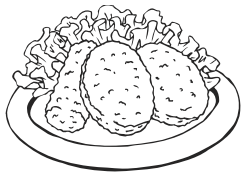
加古川市では、令和9年度からの5年間を見据えた「次期加古川市総合計画」の策定を進めています。

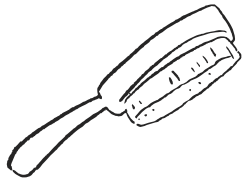
その第一歩として、これからのまちを担う若い世代の視点を取り入れるため、市内の高校生によるワークショップを開催しました。

ぜひ、加古川市を応援してください！！

SDGs未来都市
KAKOGAWA

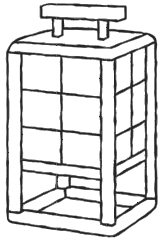






KAKOGAWA CITY







加古川市まちの魅力発信キャラクター
「かこのちゃん」